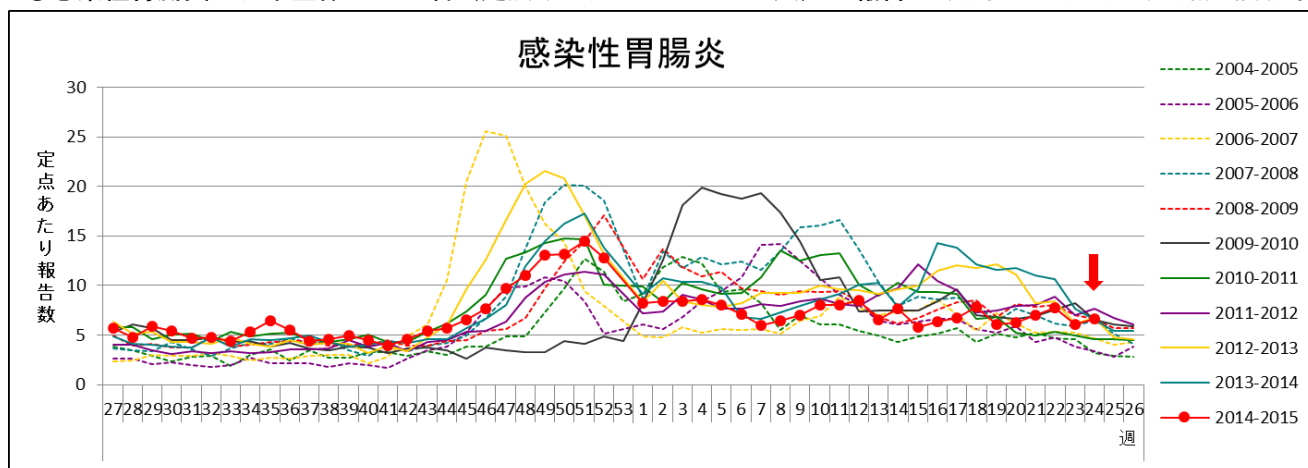


## 感染性胃腸炎週報 2015年 第24週 (6月8日～6月14日)

○感染性胃腸炎は、県全体で358名(定点あたり6.07→6.63人)の報告がありました(54定点医療機関報告)。

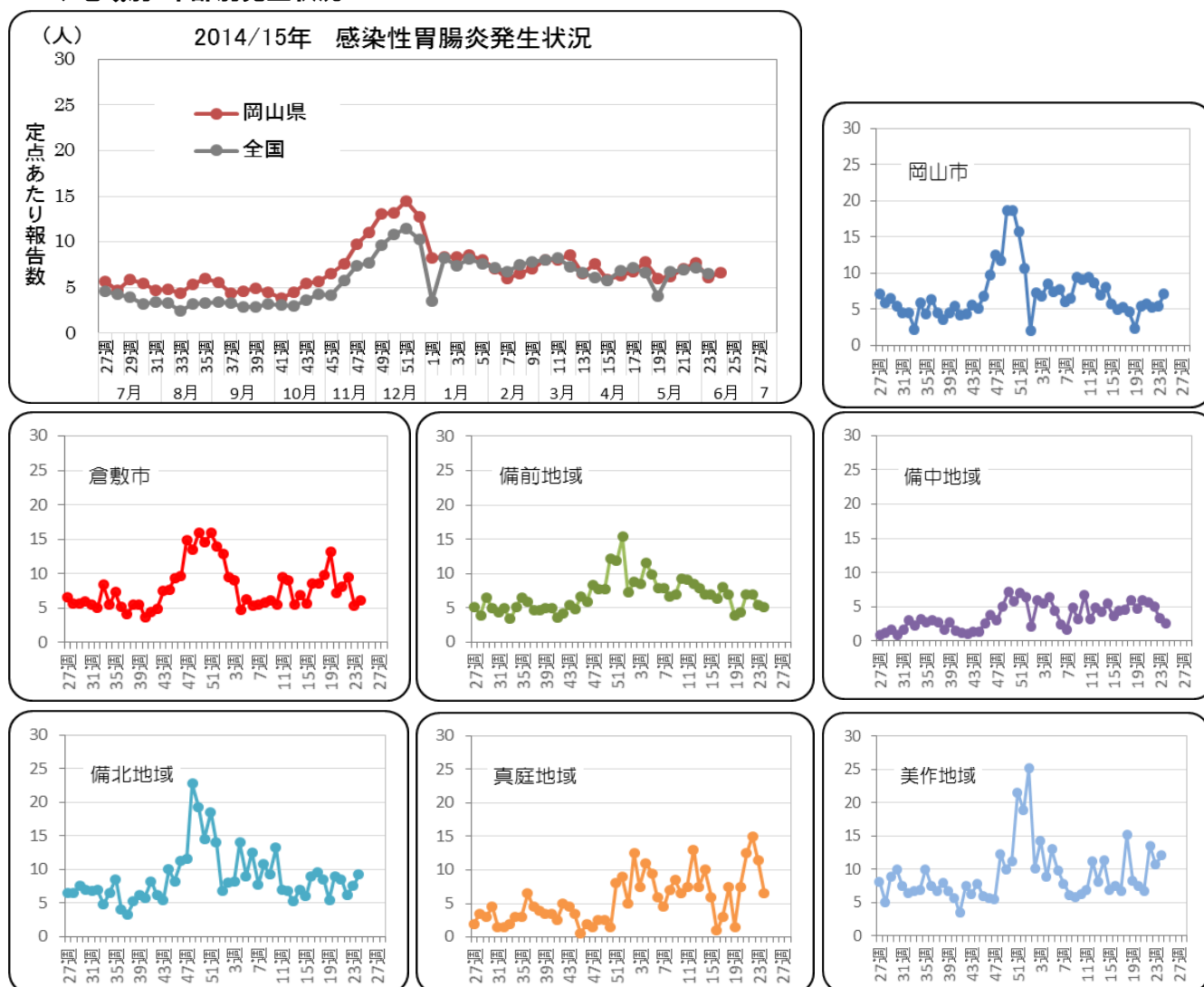


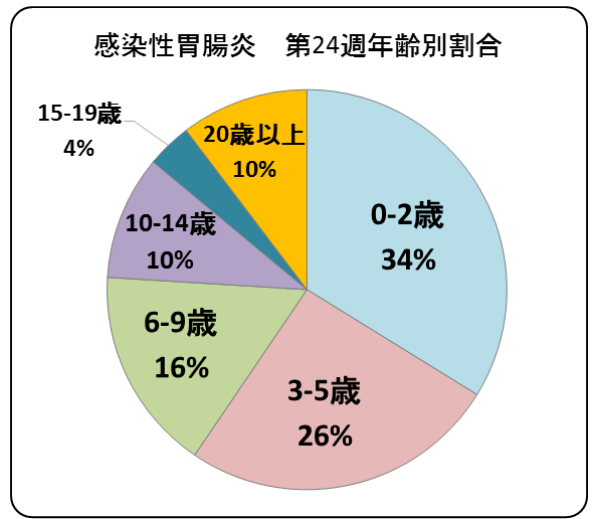
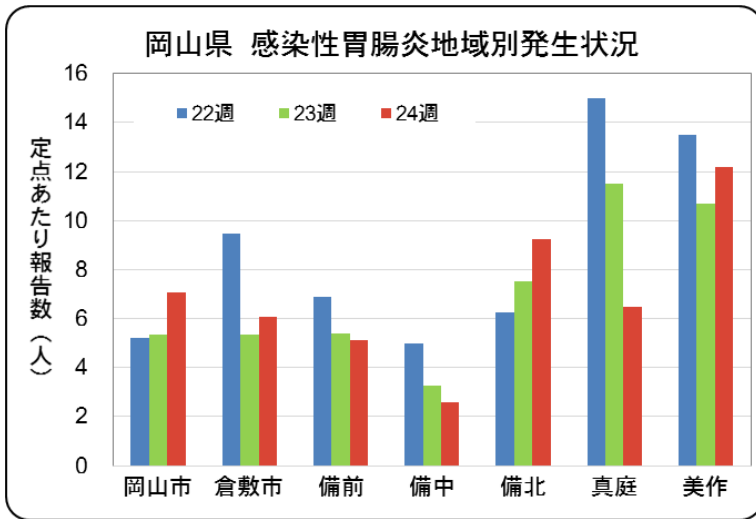
※感染性胃腸炎は秋から翌年の春にかけて流行するため、27週～翌年26週でグラフを作成しています。

感染性胃腸炎は、県全体で358名(定点あたり6.07→6.63人)の報告があり、前週より増加しました。地域別では、美作地域(12.17人)、備北地域(9.25人)、岡山市(7.07人)の順で定点あたり報告数が多くなっています。年齢別割合では、5歳以下の乳幼児が全体の60%を占めています。

例年、梅雨から夏にかけての高温多湿になる時期は、食中毒菌による感染性胃腸炎も増加します。最近の気温と湿度の状況から食中毒の発生が危惧されるため、岡山県は6月15日「食中毒注意報」を発令し、注意喚起を図っています。トイレの後や食事・調理の前には、特にしっかりと石けんと流水で手を洗うなど、感染予防に努めてください。

### ◆地域別・年齢別発生状況





◆◆◆ 食中毒を予防しましょう！ ◆◆◆

- 料理前・食事前・トイレの後には、手をよく洗いましょう。
- まな板・ふきんなどの調理器具は、十分に洗浄消毒しましょう。
- 生鮮食品や調理後の食品は、早めに冷蔵庫に入れましょう。  
冷蔵庫に入れても、細菌はゆっくり増殖するため、冷蔵庫を過信せず、早めに食べるのが大切です。
- 加熱して食べる食品は、中心部まで十分に火を通しましょう。  
特に、食肉は中心部まで火を通し、生食は避けましょう。

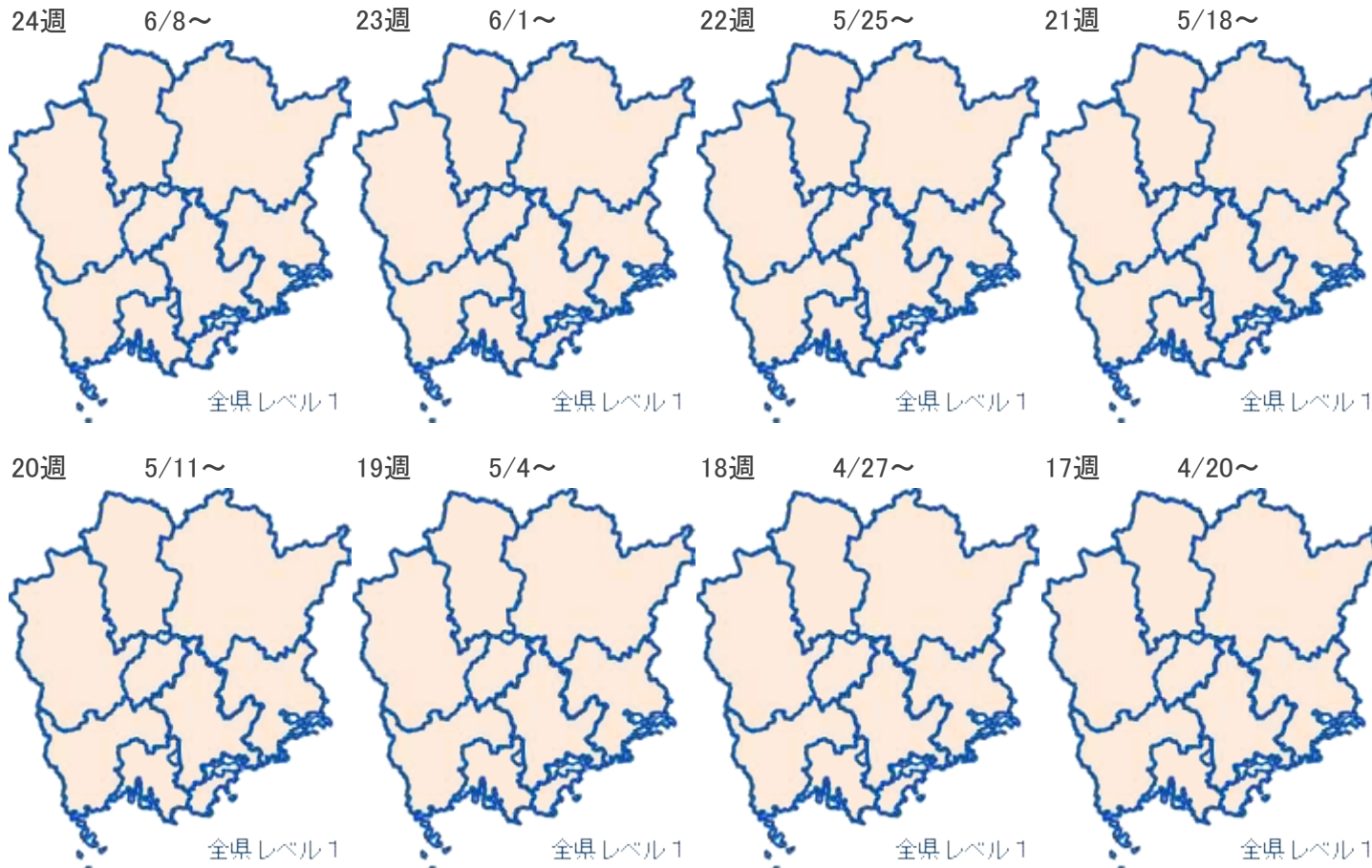
[食中毒注意報を発令しました！（岡山県生活衛生課）](#)  
[食中毒に関する情報（厚生労働省）](#)



# 岡山県地区別 感染性胃腸炎感染症マップ 2015年 24週

2015年6月17日

11:29:04



## 感染性胃腸炎

レベル3		レベル2	レベル1	報告なし
開始基準値	終息基準値	基準値	基準値	基準値
20	12		0 < 20未満	0

レベル3の開始基準値を一度超えると、終息基準値より下がらないとレベル3が継続されます。